

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和3年 1月 1日

回答数：保護者18名(在籍22名) 職員6名

事業所名：放課後等デイびんぽん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学校の教室ほどの広さがあり、遊ぶスペース、学習するスペースを区別している。	はい:17 どちらともいえない:1【意見】事業所独自の色は出せているか。	広さを有効活用する方法を考えていきたい。
	2 職員の適切な配置	国が定める基準は満たしている。	はい:15 どちらともいえない:3【意見】管理者が誰か分からない。	どんな職員が在籍するか広報等で知らせる。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	基本段差はないが、畳のスペースに5センチくらいの段差がある。	はい:18【意見】広くて明るい雰囲気ですね。	将来的にスロープ等も検討していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	朝夕の消毒、次亜塩素水を使用した噴霧器を稼働させている。	はい:17 どちらともいえない:1	感染対策を中心に環境整備に努めたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	PDCAサイクルの基礎的な内容がまだ浸透していない状況である。		勉強会等で職員のスキル向上を図りたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていない。		然るべき機関での評価の実践。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月1回の勉強会を実施している。		事例検討会等も行い、実践力を養っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	明確なアセスメントツールを使用していない。		介護保険のものも参考にしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別には活動しているが、集団活動の内容がやや乏しい状態である。	はい:17 どちらともいえない:1【意見】具体的な療育プログラムは提供されているのか。	他の放デイとネットワークを広げていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者とも連携を密にし、具体的な支援内容を記載している。		保護者向けの説明も行っていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	到達可能な目標設定をしている。	はい:16 どちらともいえない:2	小成功を積み重ね、自己肯定感を養う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	これまでは全体での活動プログラムに乏しかった。		音楽療法の導入を進めている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と土休日とはプログラムを変えている。	はい:15 どちらともいえない:3【意見】土曜日や祝日に長時間対応して下さるのは助かります。	コロナ渦が収まったら外出等も実施したい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	現在、それらの工夫はまだ未実施である。		職員の強みを支援に活かしていきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の申し送り時に確認を徹底している。職員には常にメモを取るよう指示している。		紙の媒体も使用し、情報共有を図りたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎等があり、夕方の申し送りが十分行えていない状況である。重要事項については直接電話で申し伝えている。		連絡ノートの作成を急いでいる。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援はPC内に記録し、併せて紙の媒体にも残すように努めている。		詳細な記録の実践で個々の支援につなげる。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	モニタリングは定期時のみならず、必要に応じて適宜実施している。		情報は他事業所からも頂き、共有している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所のご担当の方には随時、情報を提供し、必要に応じて本園にてカンファレンス等を行っている。		相談支援専門員がいない方への支援。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	本園にも1型糖尿病の方が居られるので、保護者様、学校、関係機関との連携を重視している。		同じ法人に老健がある。有効活用する。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	利用者の通う、小学校・中学校・支援学校とは緊密な情報共有を図っている。		情報の漏れが無いよう細心の注意を払う。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	特別支援学校に通う方については早くから進路相談にも乗らせて頂いている。		障害者サービス全体像の把握に努める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要事項ではあるが、現在は実践出来ていない状況である。		ネットワーク構築に努めていく。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ問題もあり、最近では実践出来ていない状況である。	はい:1 どちらともいえない:16 未回答:1 【意見】今はコロナだから無理ですね。	他事業所との交流は大切と認識している。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	開設当時はそのような計画も立案していたが、現在はコロナで中断している。	はい:1 どちらともいえない:16 未回答:1	コロナ終息後、再考したい。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については連絡帳、及び送迎時の口頭伝達で対応している。	はい:16 どちらともいえない:2	広報誌で少しずつ伝達できればと考える。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様にはできるだけご来所頂き、直接職員から説明させて頂いている。	はい:17 どちらともいえない:1	専門用語を避け、分かり易い表現を行う。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在は行っていない。	はい:17 どちらともいえない:1	他の事業所様より助言を受けたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者様の“想い”を汲むように努力しているが、まだまだである。	はい:17 どちらともいえない:1	より信頼関係を強化していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	放デイ内のみでは限界があるため、役所や相談支援機関にもご助言を頂くようにしている。	はい:13 どちらともいえない:5	専門家を呼んでの講話も企画したい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、父母の会といった保護者様のネットワーク組織がない。	はい:1 どちらともいえない:14 いいえ:3 【意見】コロナが収まったらお願いしたい。	他の事業所様の助言も頂く。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情はご意見と捉え、真摯に対応するように心掛けている。記録に残し、職員全員に周知徹底する。	はい:15 どちらともいえない:3	苦情には迅速な対応を心掛けている。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	非言語コミュニケーションを大事にしている。利用者の何気ないサインを見逃さない様にしている。	はい:16 どちらともいえない:2	勉強会の主要なテーマに位置づける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	不定期に発行している。	はい:11 どちらともいえない:7	小学校のお便りを参考にしている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に気を付けている。	はい:18	情報の漏洩がないように徹底。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	同じ法人の老人保健施設の医師や看護師からも適宜助言をもらい、マニュアルを作成している。	はい:9 いいえ:9【意見】その類は聞いたことがない。	あらためて周知徹底を図る。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	これまでは同じ建物内のグループホームと歩調を合わせてきたが、コロナ渦で独自の避難訓練を実施するに至る。	はい:9 いいえ:9	定期以外も適宜実施していきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的な勉強会を開催している。用語に始まり、事例研究も併せて行っている。		虐待防止に全力を挙げて取り組んでいく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約書に記載されている。契約時に十分な説明を行っている。		開かれた施設を目指す。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーを持つ利用者は居られるが、主治医との直接的なやり取りはない。情報はほとんどが保護者様からである。		医療知識が全体的に乏しいのが課題。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事故報告書等は全員が閲覧し、再発防止に向けたカンファレンス等も実施している。記録は紙の媒体に残している。		職員の目の行きやすい場所に保管。